

合宿研修
ルポ

地域マネージャー養成講座

とき 6月3~4日 ところ 神鍋高原

平成29年4月にスタートする地域コミュニティ。各地区でその運営を支えるのが地域マネージャーです。現在、その候補者として公民館主事が研修を受けるなど、準備が進んでいます。

6月3~4日の合宿研修では、参加した24人が講

義やフィールドワーク、業務の棚卸し作業を通して学び合いました。寝食を共にして共同作業を行い、意見を交換するなど切磋琢磨しています。



《問合せ》コミュニティ政策課 ☎21-9020

公民館事業の棚卸し

地域コミュニティを進めるに当たっては、地域を見つめ直し、現状を棚卸しすることが必要。それぞれ地域の状況を報告し、課題を整理、今後の作業につなげます。



フィールドワーク(まちむらたんけん)

地域を歩くと新しい発見がある。そして見たこと、聞いたことをまとめる。一連の流れを学ぶ。真剣です。



一体感も生まれ、心も通う

① 神鍋山で記念撮影
② 夕食で交流。気持ちも通じる。

■1日目

- ◇講演:地域コミュニティづくりはなぜ必要なのか
- ◇フィールドワーク(まちあるき,まとめ)
- ◇交流会,意見交換

■2日目

- ◇神鍋山火口ウォーキング
- ◇公民館事業の棚卸し作業
- ◇合宿の成果と振り返り

講師
島根大学教授 作野広和さん
学生人材バンク代表 中川玄洋さん

月
日
曜日
日直

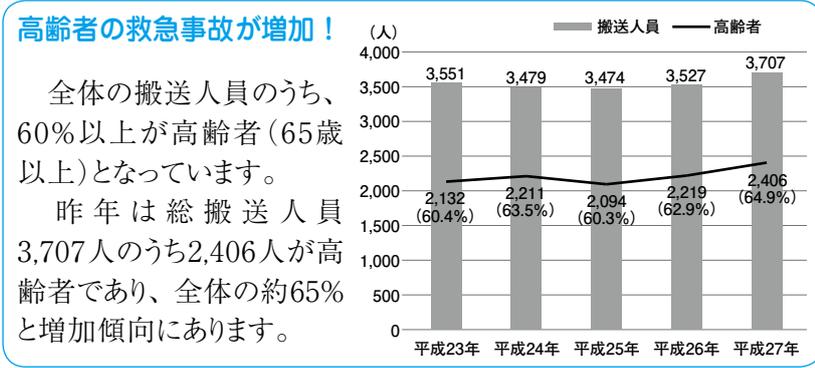
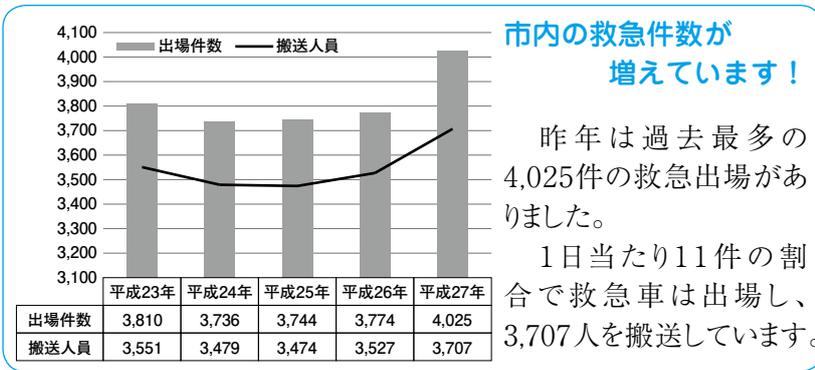
地域づくりの主役は地域の皆さんです。
一人一人が持っている力を地域コミュニティに寄せてください。

始めよう！予防救急

「予防救急カレンダー」を始めました！

日常生活で、けがをしそうになって「ヒヤッ」とした経験はありませんか？ けがや病気の中には、少しの注意や心掛けで防げるものがあります。また、急を要する初期症状に早く気付くことも大切です。日頃から救急車を呼ばなくてはならないような、けがや病気をしないように注意することが大切です。このことを「予防救急」といいます。

《問合せ》豊岡消防署救急係 ☎24-18038



こんな症状は要注意!! 迷わず救急車を!



予防救急カレンダーを始めました!

消防本部では「予防救急」を市民の皆さんに知ってもらうため『ことわざから学ぶ予防救急カレンダー』を作成しました。

年間計6枚(2カ月ごと)で、その季節に合った内容の予防救急を、ことわざの解説に合わせて紹介しています。

消防本部ホームページからダウンロードもできます。



家庭内に潜む危険因子!

高齢者は要注意!

▼**転倒** 高齢者のけがで1番多いのが、家庭内での転倒や転落です(高齢者のけがの約80%)。滑りやすい廊下や階段などの段差で発生しています。

▼**【予防方法】** 段差には手すりや滑り止めを設置する▽滑りにくい履物を選ぶ▽夜間は足元を明るくする

入浴中の事故

入浴は、高齢者や持病のある方の身体に大きな負担を掛けます。外気が冷え込む季節は要注意です。気温と湯温との差が大きいと、血圧が上下し、心疾患や脳疾患を発症したり意識を失うことがあります。

▼**食事時の窒息・誤嚥** 加齢とともに食物をかむ力や飲み込み機能が低下するため、食事時に喉に物が詰まるといった、窒息や誤嚥が発生しやすいです。特に餅やこんにやく、刺身などは注意してください。

▼**【予防方法】** 食材を細かく切り飲み込みやすくする▽硬い物やかみきれない食材は避ける▽ゆつくりよくかんで食べる▽飲み物を準備しておく